

ねりま区報（平成 30 年 6 月 21 日（抄））

待機児童対策は、新たな局面を迎えています 1面

区は、これまで区独自の幼保一元化施設「練馬こども園」の創設や待機児童ゼロ作戦などにより、**全国トップレベル**となる5,000人以上の保育定員の増を実現しました。

問合せ

入園について …………… 入園相談係 ☎5984-5848
保育施設の新規整備について… 整備計画担当係 ☎5984-4687

この5年間で、47%の定員増を実現！

申請者が**3,764人→5,753人**と約**2,000人**増に対し、
待機児童は**578人→79人**と約**500人**減少しました！

区全体では、保育定員が保育
需要を大きく上回っています



※復職意思のある育児休業中の世帯を新たに待機児童数に加えしました。

幼児教育・保育の無償化が予定されています。区は、保護者の動向を把握し、必要な対応を検討していきます。

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
①定員	11,664	12,418	13,790	15,089	16,301	17,116
②在籍児童数	11,119	11,836	12,933	13,927	15,121	15,877
①-②	545	582	857	1,162	1,180	1,239
待機児童数	578	487	176	166	48	79(33)

空きがあっても待機児童が発生している理由は…

✓地域における需給のミスマッチ

- 保護者が希望する保育所と、定員に満たない保育所が一部地域で一致していません。

✓保育需要の更なる増加

- 区の児童人口は引き続き増加傾向にあります。
- 障害児の保育需要も増加しています。
- 国が幼児教育・保育の無償化を実施します。

来年4月に向けた取り組み

- 当初計画を上回る**710人の定員拡大**など。
- 幼児教育・保育の無償化による保護者の動向を把握し、**必要に応じた対策を講じます。**

待機児童解消を目指しながら、子育ての基本的なあり方と当面の対策を明らかにするよう国に強く求めます。